

今後の取組みについて

東京証券取引所 上場部

2026年4月7日



今後の取組み

資本コストや株価を意識した経営の推進（プライム市場など）

- 経営資源の最適配分（成長分野への投資）に向けた取組みの推進
 - 取組みの進展を目指す企業向けに対応ポイントを周知【2026年4月】
（中長期的な経営方針、資本の使い方、保有資産の点検、取締役会の議論・監督）
- 企業の取組みのサポート
 - 投資家アンケートを実施、進展が見られる企業を公表【2026年春～】
 - 事例集のアップデート【2026年秋～】、経営者への啓発【継続】
- 企業・投資家双方の目線合わせ
 - 企業アンケートで、投資家への要望等を収集・公表【2026年4～6月】
- （あえて）開示していない企業に理由・方針の開示を促す【順次】

資本コストや株価を意識した経営を推進する中での課題

親子上場

- グループ経営や少数株主保護に関する検討・開示を推進
 - より実効的な方策の検討（開示すべき項目の再整理等）【2026年夏～】
- 少数株主保護の観点から必要な上場制度を整備（少数株主の賛否割合等の開示、独立性基準の見直し）【パブコメ中】

完全子会社化・MBOが増加する中での課題

非公開化

- 一般株主の公正な利益確保の観点から、特別委員会における検討の実効性向上や必要な情報開示の充実を推進
 - 2025年7月の企業行動規範の見直し後の状況を踏まえた啓発活動（社外取締役向けセミナー等）を実施【順次】

グロース市場改革

- 上場維持基準の見直し（5年100億円）（改正済み）【2030年～】
- 高い成長の実現に向けた働きかけのフォローアップ
 - 投資家の期待や「働きかけ」の内容を個別に再周知【継続】
 - 企業の取組み状況・投資家評価の振返り【2026年夏頃】
- 上場後の成長を後押しする施策の検討
 - 経営者向けアンケートで意見収集【2026年春～】
 - スタートアップ関係者と意見交換、施策を具体化【順次】
- 積極的に取り組む企業のサポート
 - グロース向けセミナー、機関投資家との対話会【継続】
 - 事例集のアップデート（プロセスを追加）【2026年秋頃】

（参考）TOPIXの見直し（第2段階）

- スタンダード・グロースからも組み入れ（2026年10月以降）

- プロマーケットの機能発揮（一般市場上場と非上場の間の活用ニーズに対応）【2026年春～】

スタンダード市場の魅力向上

- リソース不足等で資本コストや株価を意識した経営の開示に至っていない企業へのサポート
 - 段階的な開示・ブラッシュアップを働きかけ【順次】
- 投資家保護上問題のある企業行動への対処

経過措置の終了に伴う対応

- 一定数の企業が改善期間の終了を迎えることに伴い、株主・投資家への周知・注意喚起を徹底【継続】